

私の 仕事 紹介リレー

入院クラーク

池田
愛



入院クラークの池田愛です。医師事務作業補助者として勤務しています。医師事務作業補助とは、医師の事務的作業の負担を軽減するため事務作業を代行して行う仕事です。主として、診療録（電子カルテ）への代行入力、文書作成などを行います。開業医で医療事務を経験し、平成19年10月に日本海総合病院に入職しました。これまで入院クラークとして産婦人科や脳神経外科、集中治療室を担当し、現在は手術室で業務を行っています。

現在、担当している手術室での業務は、主に手術の術式や麻酔の手技、薬剤の入力です。術式は医師の手術記録や診療報酬点数表から選び入力をしていますが、迷った時には医師に点数表を見てもらい確認しながら

入力をしています。手術・麻酔は診療報酬点数数の中でも高い点数であることから、もう一人のクラークと相



入院クラーク



談しながら業務にあたっています。

クラークになり10年以上経ちましたが、結婚・出産・育児を経験し仕事を続けてこられたのも、家族の支えや復帰後の周りのスタッフの支えがあったからだと思っています。職場の環境にも恵まれ、とても充実した期間となりました。これからも、病院職員として、勉強会などに参加し知識を高め、経験値の向上に努めるとともに、仕事と家庭の両立を目標にして仕事を続けていきたいと思っています。

《外来クラークについて》

医師事務作業補助者は外来でも活躍しています。業務内容としては、

診療録への代行入力（問診内容、指導料・処置・検査などの項目）、外来予約入力、各種書類の作成などです。診察前に予約が入っている患者さんのカルテをチェックし、診察時には必要な書類の出力、次回の外来予約日や薬の日数などの確認を行い、診察がスムーズに進むよう業務を行っています。

最初は慣れない医療用語に戸惑いもありますが、医療現場の質の向上に貢献できるやりがいのある仕事です。

外来クラーク



※撮影時のみマスクを外しています。